

2008.3.2 曇り時々晴れ 雨乞岳 SH例会



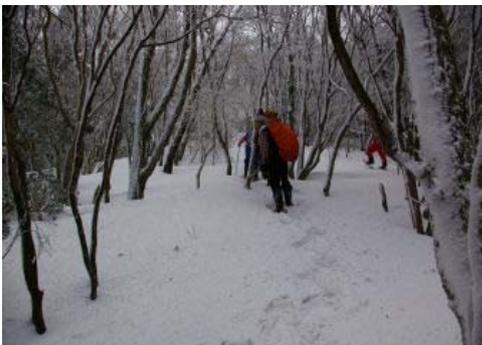
左；簡易
舗装路柵
右；わか
りにくい
登山道入
り口



尾根に取り付きスノーシュー装着

854 白倉谷林道途中 928 清水平谷登山道
1044-1048 P 835 1103-1122 清水頭南稜取り付
き 1152 清水頭 1159-1239 奥の畑峠・昼食 1305
南雨乞 1317-1320 雨乞岳 1327 南雨乞
1339-1350 奥の畑峠 1358 清水頭 1425 P 835
への途中から下る

南稜の登り



1556-1603 清水平谷の林道 1633 白倉谷のP

本日は咳も残っていたので参加すべきかどうか、
悩んだ挙句の参加となった。念願の雨乞の魅力が
優った。



清水頭の登り

予定では登山口まで車の予定で
あったが、雪が多く、歩きで 30
分分手前で駐車。わかりにくい
入り口である。急なのぼりで尾
根に取り付き、スノーシューの
装着となった。清水頭の南稜の
にでると視界もよくなり、綿向
も見えてきた。



鎌ヶ岳（清水頭手前から）

稜線歩きは天気よし、景色良しの
ルンルン歩きであった。雨乞も近場で
初めてくっきりと見る事ができた。
清水頭を過ぎ、奥の畑峠で昼食とな
った。風もなく、ゆったりと昼食を
とることができた。当初計画ではこ
こから雨乞をピストンして、南雨乞
の南稜を下ることになっていたが、
御在所（南雨乞から）



林道歩き分で 1 時間のロスがあるた
めか、峠から雨乞のピストンとなり、
帰りは行き道に戻ることに。
空荷ゆえ、ルンルンでピストンした。
景色は抜群であり、360度さえぎる
ものはなかった。北は霊仙・御池、東
は御在所、西は綿向、南は仙ヶ岳。



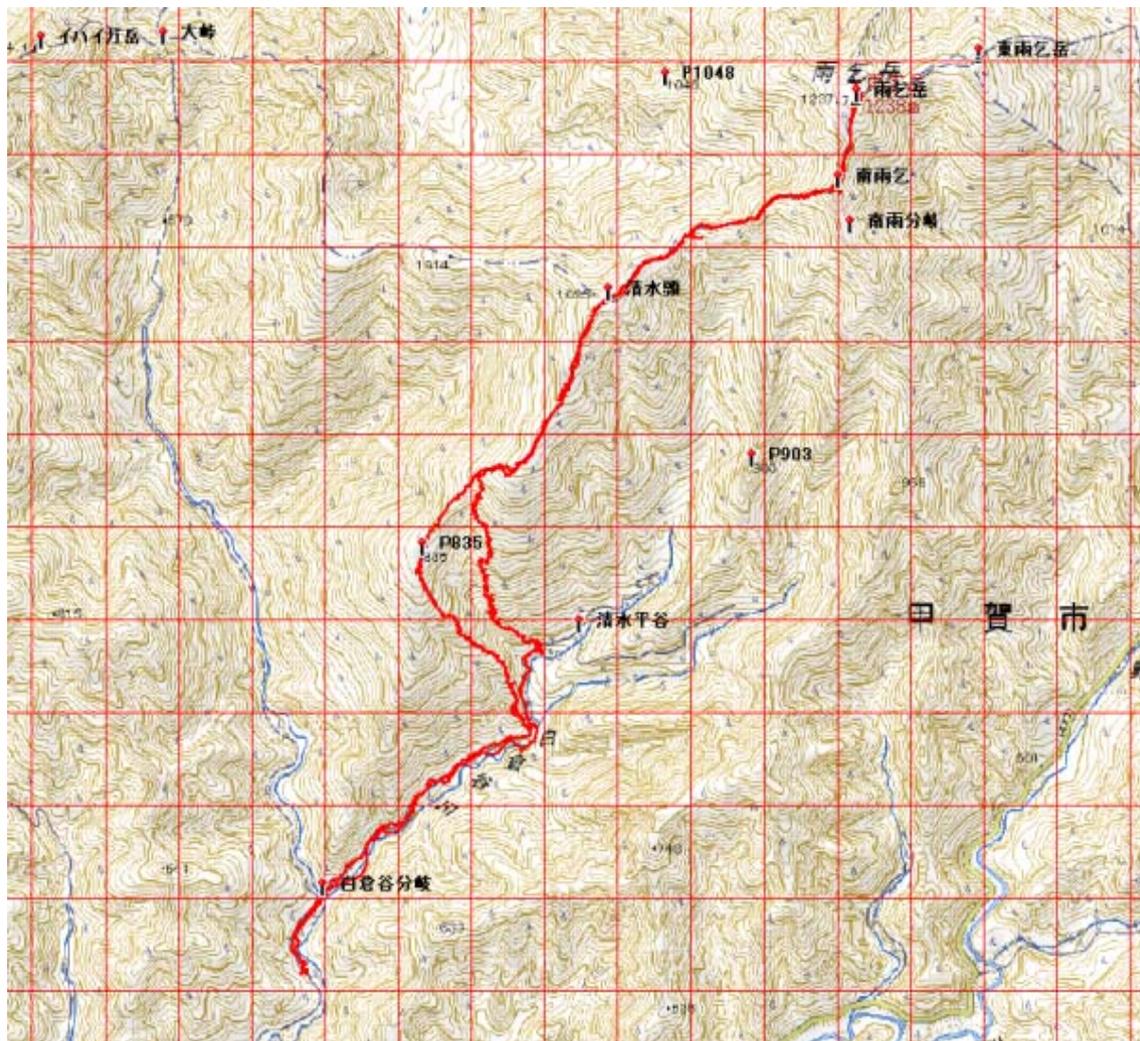
雨乞岳

行きは南雨乞の西斜面を巻いて雨乞に、帰
りは南雨乞を経由した。雨乞から南雨乞を望ん
だとき、光環が見えたのですかさず写真を撮
った。あまり記憶にはないので、珍しいこと
と勝手に判断。
峠からもと来た道をもどるつもりであった



南雨乞岳

が、リーダーの判断でP835 手前から手前の尾根に行
くことに。谷からなかなか出れなかったが、どうにか
尾根に出て、急な斜面を降りて林道に。
SH 例会の2回目、大満足です。今晚から、また咳にな
やみそう。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは<http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/> です。